

勝山市総合行政審議会（第11期第9回）結果概要

- 開催日時 平成22年10月20日（水） 午後7時～午後9時15分
- 開催場所 教育会館1階 勝山公民館第1会議室
- 出席者等 出席委員 9名
事務局 企画財政部未来創造課

1 会長あいさつ

2 審議

(1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金にかかる事業活用活性化計画目標評価報告書に対する意見について

○担当課（林業振興課）より説明

次回（11月4日）、審議委員からの意見をいただく

(2) 平成21年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

3. 産業とまちなのにぎわいなど若者に魅力あるまちづくり
4. 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり
5. 誰もが学び心が通うふれあいのまちづくり

○事務局

資料に基づき1ページずつ説明

【質疑応答】

観光誘客の促進

●委員

- ・取り組みのすべてが提供であり、観光客数の増加といったような実績がない。(4)については手法について問題あり。また、市民団体が主体となってやっている類似事業もある。勝山に誘客することが最終目標である。評価4は高いのではないか。印刷すれば目標が達成されるものなのか、目標に問題がある。

●委員

- ・勝山に誘客することは行政だけの努力だけではなく、観光協会や商工会議所、個人商店等と一体にならないと誘客の成果は出ない。マップにしても目的がバラバラでいっぱい出ている。勝山が観光誘客としてどの方向を向いているか明確でない。連携をとってみんなで同じ方向を向いてほしい。

●委員

- ・まちなかでないところについてはどうなのか。考えていないのか。

○事務局

- ・観光誘客の促進という項目について、今回はこのような目標を掲げたと考えていただければよい。

●委員

- ・目標に対しては、評価は4でいいと思うが、目標設定に問題があるのではないか。

●委員

- ・行政と民間等が連携して目に見えた成果があったかという、評価が4といえるのか。

●委員

- ・目標に対しては数値を出しにくい項目であるということもわかる。こういう評価にふさわしいのかという思いもある。今後、数値を目標として出したときにその辺りの評価は考えていく必要がある。

●委員

- ・これだけのことをしてもこの年には数値は出ない。1年で数値を出すのは難しい。

●委員

- ・人数的には多くないかもしれないが、恐竜バスが運行していることで平泉寺まで来ることができたという観光客がいた。バスの時刻表を見て、時間の案内もできたし、この点では以前に比べて大きく改善されたと実感している。

●委員

- ・目標に対して評価は4でよいか。

●委員

- ・異議なし

四季折々の自然を利用した体験型宿泊旅行の企画と誘致

●委員

- ・民間の活力を視点に入れると良いと思うが、評価は3でよいか。

●委員

- ・異議なし

エコ（まちなか）サイクリング誘客の推進

●委員

- ・まちなかで観光客が自転車に乗っている姿をみたことがない。コース設定はされたのか。

●委員

- ・レンタサイクルは37台利用があったということだが、マップを利用してサイクリングをしたのか。

○事務局

- ・コースはまだ設定されていない。観光客は、自転車用のマップではないが、観光地を掲載したマップがあるので、それを見て利用している。

●委員

- ・細かく目標設定しているが、他の項目と重複しているのではないか。

○事務局

- ・目標設定が曖昧になってしまい、観光誘客に結びついたかとどうかということが読みにくくなってしまっている。

●委員

- ・事業実施が不十分であるとして内部評価は1だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

まちの駅全国協議会への加入と民間活力による拡大振興

●委員

- ・まちの駅の方は資質向上のために勉強しているのか。

●委員

- ・まずは加入者を集めている状態だと思う。現時点では、実際にお客さんがきたらどう対応するかは個々のお店の考え次第である。市民と観光客が触れ合える場がまちの駅だと思っているが、実際は市民も入りにくい部分があるなど課題もある。市民が集えない場所では観光客は集えない。

○事務局

- ・全国に比べればまだまだ意識が低いけど勉強や研修は実施している。川の駅は建設部へ移管となったから評価に考慮しないとかいうものではない。

●委員

- ・内部評価は5であるが、まだまだ課題があるので4としたい。よろしいか。

●委員

- ・異議なし

まちづくり交付金事業の推進

●委員

- ・まちづくり交付金の事業を実施して観光客が来たか来なかったかで評価しないとおかしいのではないか。

○事務局

- ・ご指摘のとおりである。しかし、担当課としては、第2期の5年間の交付金の認可を受けるという目標を立て、今後5年間の交付金の約束を取り付けてきた。目標に対し達成したので内部評価は5となっている。

●委員

- ・委員としては、勝山がにぎわってほしいという思いがあるということ、事務局は理解してほしい。交付金の権利を取ったということで、評価は5でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

利便性の高い電車・バス運行体制の確立

●委員

- ・評価理由に、今後更なる見直し・効率化が必要とあるが、乗りやすい体制にしても乗らなかったら効率は上がらないのではないか。

○事務局

- ・路線が悪いとか時間が悪いなど、ニーズに合わせた供給をしていない、まだまだ改善点があるということが内部評価の評価理由となっている。確かに、いくらダイヤ改正しても、前のほうが良かったという意見が出てきて、堂々巡りであることも否めない。

●委員

- ・運行体制を確立して、それがうまくいってればそれでいいのではないか。

●委員

- ・バスは「すこやか」を経由しているのか。すこやかでは健康診断や講座等が行われているが、高齢者にとっては行きにくい場所である。誘って連れてってあげないと行けない。

●委員

- ・バスに乗って「すこやか」へ行くには、一度「ゆめお一れ勝山」または「福井社会保険病院」まで行って、バスを乗り換えないと行けない。高齢者には大変である。

○事務局

- ・勝山のように中心から放射線状に広がっている場合、病院等ニーズの多いところは通ってい

るが、何箇所かの施設に全てのバスが通るとするのは難しい。

●委員

・改善の余地があるということで見直しを求めましょう。評価は4でよろしいか。

●委員

・異議なし。

公共交通機関の利用促進

●委員

・評価理由に、景気後退等による利用者減少とあるが、なぜ景気後退で電車に乗らないのか。また、市側で立てた目標に対し、達成率が94.7%であるし、イベントそのものの参加者は増加したというのであれば評価は4でもいいのではないか。

●委員

・えちぜん鉄道の利用の減少については、非日常的な利用、いわゆる電車に乗って遊びに行こうという人が減少したのではないかと思う。

○事務局

・減少理由としては、スキー客の減少ということも聞いている。

●委員

・観光客は土日は結構えちぜん鉄道を利用している。市民の利用が少ないのではないか。

●委員

・目標達成数値からいうと4でもいいという意見があったが、利用者が減少するという事は行政支援すなわち税金を投入しなければならないということである。さらなる努力をしていただくということで評価は3でよいか。

●委員

・異議なし。

「恐竜バス」の効率的な活用

●委員

・平泉寺方面での利用の伸び悩みという課題をもって評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

学校、市有公共建築物の耐震化を進める

●委員

・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

災害情報伝達方法の改善（同報系無線局の設置）

○事務局

・緊急時の一斉メールについては、通信業者にも協力をお願いする中で、登録の推進を図っている。また、担当課においては各集落ごとに説明会等をする中で、防災の観点から登録を呼びかけたりしている。また、防災行政無線では聞こえにくいところを徹底的に洗い出すなど、今後の拡大に向けて準備を進めている。

●委員

・目標内容等を見るとほぼ100%達成したように見えるが、5ではない理由は何か。

○事務局

・緊急一斉メールの登録が課題であるということ。

●委員

- ・課題が残っているということで、評価は4でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

災害時要援護者支援計画に基づく要援護者の登録の推進と支援組織の構築

●委員

- ・自主防災組織化を呼びかけた後、どうなったのか。

○事務局

- ・呼びかけた結果、たくさんではないが自主防災組織を設立した地区がある。また、設立に向けて考えている地区もある。

●委員

- ・動きがあるということですね。内部評価は4だが、よろしいか。

●委員

- ・異議なし

市内全家庭における住宅用火災警報器の設置

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

応急手当（AED）の普及

●委員

- ・これ以上施設にAEDは設置しないのか。

○事務局

- ・平成22年8月末で70台設置されている。必要な施設にはおおかた行きわたったと考えている。民間施設における設置はカウントしていないところもある。

●委員

- ・実際に取り扱える市民の割合が多いとはいえない状態なので評価は4でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

平泉寺簡易水道の上水道への統合

●委員

- ・内部評価は5だが、よろしいか。

●委員

- ・異議なし

「環境基本計画」「地方公共団体実行計画」「地域推進計画」を策定する

●委員

- ・5つの目標に対し、2つしか達成できなかったということで評価は2でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

かつやまをきれいにする運動の推進

●委員

- ・全て目標達成しているのになぜ5でないのか。

●委員

- ・レジ袋の無料配布中止については、コンビニやいくつかの事業所でまだ中止されていないところもある。課題も残っているので、評価は4でどうか。

●委員

- ・異議なし

狭い道路の融雪化に順次取り組む

●委員

- ・川水を利用して融雪し、またその水を川に戻すという方法を試験的に実施した。その結果、轍の部分の雪が消えなかったと聞いている。その結果評価は3であるが、今年度も継続するのか。

○事務局

- ・効果があった地区においては、簡易方式で一回ずつ組み立てるのではなく、道路に本管を敷設する予定である。

●委員

- ・評価は3でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

住宅ストック計画に基づく新市営住宅の建設

●委員

- ・内部評価は5だが、よろしいか。

●委員

- ・異議なし

雇用促進住宅（下毛屋住宅）の取得と運営

●委員

- ・雇用促進住宅取得に向けて、勝山市及び入居者にとって有利な方向で話しを進め、取得後入居率は92%ということで、評価は5でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

「生きる力」を育成する教育の推進

福井型コミュニティ・スクール

次世代育成アクションプラン

●委員

- ・学校での事業内容はわかりにくい部分が多いので、次回担当課に説明していただく。評価は説明後に行うこととしたい。

鹿谷小体育館耐震補強工事をはじめ耐震度の低い施設から順次移行

●委員

- ・評価は4でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

男女共同参画社会の実現（男女共同参画具体的行動計画の策定、実行）

●委員

- ・具体的行動計画は素案策定にとどまったという担当課の自己批判もあるので、評価は3でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

食育の推進

●委員

- ・食育という名前ばかりが前に出ているが、一体どこまで進んでいるのかわかりにくい。

●委員

- ・担当課は目標に対しそれぞれ検証しているし、食育推進計画の目標も概ね達成したということで評価は4でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

史跡白山平泉寺旧境内整備事業の推進（白山平泉寺の発掘地とガイダンス施設整備）

●委員

- ・評価は3でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

世界遺産登録に向けての取り組み

●委員

- ・世界遺産登録推進に対して、平泉寺の地域の方は強い関心をお持ちなのか。

●委員

- ・関心は持っているが、世界遺産になったから何がどう変わるかということまでは、あまり考えていないのではないかと思う。かわら版は新しい発掘の成果を知る大事なツールであると思う。

●委員

- ・評価は4でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

木下家住宅の買収と国重要文化財指定を目指す

●委員

- ・目標は3点でいずれも達成している。また、今年度に入り国の重要文化財に正式に指定されたので、評価は5でよろしいか。

●委員

- ・異議なし

●委員

- ・少し保留はあるが以上で外部評価は終了した。次回は残っている部分の評価を行い、専門的な意見も含めて修正することとしたい。

○事務局

- ・次回は林業振興課の案件を担当課より説明し、委員の意見をいただく。その後、外部評価についてまとめたい。

以上